前回のふりかえり

第１回目の実行委員会で説明したことや話し合った内容をニュースレターを使ってふりかえりました。実行委員会は４つの部会にわかれて話し合いを進めていきます。プログラムコーディネート部会は主に当日、どこでどのようなプログラムを開催するのかを考えます。コンシェルジュ部会は受付やプログラムの案内、ツアーなどを企画、情報発信部会は市民目線でオープニングイベントの情報発信を企画、オープニングセレモニー部会は、市民参加型のテープカットなどを考えます。全体会を月に１回対面で開催、部会は全体会の間にオンラインを中心に開催していきます。

●参加者数

24名

●プログラム

① はじめに
② 前回のふりかえり
③ オープニングイベントの最新の状況
④ 部会内で意見交換
⑤ 発表
⑥ 部会をこえて意見交換
⑦ おわりに

オープニングイベント進捗報告（共創推進課主幹 山脇より）

市役所内でもオープニングイベントについて検討を進めています。前回から変更になったことなどを報告します。これまで、おにクルを含む市民会館跡地エリアの整備に関わるワークショップなどの取り組みには、延べ1,500人を超える市民のみなさんが参加しました。11月26日は5,000人以上の来場者を見込んでいます。来場者にはおにクルを「見てもらう」ことを基本とします。また、長蛇の列や大人数の滞留を回避するために、午前・午後の２部制を廃止することにしました。９時からテープカットなどのオープニングセレモニーが始まり、９時半にはおにクルを開場、10時半から大ホールで開館記念式典が始まる流れを予定しています。

《11.26の方向性》

- **おにクルをお披露目する日**
  ⇒ 来場者には「見てもらう」のが基本
  参加してもらう企画は事前予約が原則
- **長蛇の列**や**大人数の滞留**は回避

⇒ **午前・午後の２部制を廃止**

《１日のスケジュール》

- **9:00** オープニングセレモニー
  ﾏｰﾁﾝｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ演奏、ﾃｰﾌﾟｶｯﾄ、おにがキタぞ～
- **9:30** 〈施設〉おにクル開場
  〈広場〉ﾏｰﾁﾝｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ演奏
- **10:30** 〈施設〉開館記念式典

意見交換

前半は部会ごとで話し合う時間をとりました。各部会で話し合ったことを共有した後は、部会を越えて現状の共有や他の部会に聞いてみたいこと、応援を依頼したいことなどを話し合いました。それらは伝言シートに書き込み、他の部会で意見交換を行いました。オープニング当日にスタッフが身に付ける小物のデザインについてや、実行委員会のメンバーが試行錯誤する様子を伝える当日までの情報発信の進め方などが共有されました。

プログラムコーディネート部会

オープニングイベントで企画やプログラムを実施する時に大切にしたいことを話し合いました。市からは連携、ひらく、お披露目を求められていますが、それ以外にも色々な人が参加する多様性、気軽さ、おにクルならではの文化「おにクルカルチャー」をつくる、企画する側も参加する側も楽しむ、次につながるような継続性、参加した人が今度は自分が企画してみようと思えるようなきっかけをつくるなどがあがりました。これらの大切なことを踏まえてそれぞれでやりたいことの企画アイデアを考えていきます。

コンシェルジュ部会

コンシェルジュ部会のプログラムに参考になりそうな情報を持ち寄りましたが、まだまだ足りなかったため、ツアー班、ビジュアル班、インフォグラフィック班に分かれてイメージ写真や案などの情報収集をさらに進めていくことにしました。また、コンシェルジュ部会内で勉強会を開催し、今回は「＋おにクル」というPR冊子を読み込み、もっと知りたいことや気になっていることを共有しました。この勉強会から出てきた疑問などをふまえて、次回以降はおにクル関係者にゲストとして来ていただき、案内にまつわる知識を深めていきます。

情報発信部会

情報発信部会で届けたい情報は「主催者同士の情報交換」と「来場者も発信者になれる」という２つの点です。今回は特に「来場者も発信者になれる」についての内容を検討しました。オープニングイベントに向けて機運を高められるように、缶バッジづくりやTシャツづくりなどの事前ワークショップのプログラムを考えました。また参加型のカウントダウンプログラムや、噂づくりなどのアイデアも出てきました。さらに、事前ワークショップまでにファンをつくるためにSNSやWEBサイトの開設も検討していきます。

オープニングセレモニー部会

テープカットセレモニーへの参加者の募集方法について話し合い、テープをつくるワークショップのスケジュールを検討しました。また、参加者の目印として、ワークショップで製作してもらうコスチュームのアイデアなどを考えました。そして、テープカットセレモニーを演出するシャボン玉の液づくりの実験をすすめるとともに、シャボン玉を飛ばす道具などの製作も検討していくことになりました。また、当日のプログラムについては、マーチングバンドや式典などと調整しながら、具体的なタイムテーブルを検討していきます。

主催：茨木市・茨木市市民活動センター　企画・運営：studio-L